

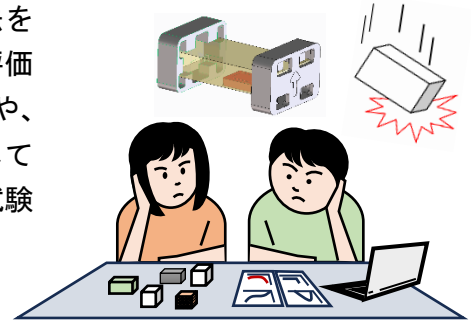
第20回

合理的設計手法から評価試験まで！

緩衝包装設計実践コース

公益社団法人日本包装技術協会

標記コースでは、動的応力歪線図を基にした緩衝設計手法を解説するとともに、物理の基礎から緩衝設計計算の実例、評価試験に至るまでのプロセスを扱います。各種試験装置の見学や、設計に必要な動的物性データ取得の実演、代表的な素材として発泡プラスチック緩衝材での設計演習とサンプルを用いた試験を行う、より実践的なプログラムとなっています。



開催要領

と き：2026年12月4日（金）9：30～16：30

と ころ：大阪産業技術研究所 和泉センター（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL0725-51-2525）

対 象：＊包装資材メーカー、電機電子機器等 製造メーカーのご担当者
＊これから緩衝包装設計業務に従事される方

定 員：20名（最少催行人数8名）

参加費： J P I 会 員 33,000円（消費税10%・テキスト代含む）
（お一人様） 一 般 44,000円（消費税10%・テキスト代含む）

申込方法

- * 当協会ホームページよりお申し込みください。 <https://www.jpi.or.jp>
- * 申込受付後、実施要領・請求書・会場の詳細をお送りいたします。参加証は発行いたしません。
- * 申込締切日は11月27日（金）とさせていただきます。締切日以降にキャンセルする場合、参加費のご返金はお断り申し上げます。代理の方のご参加をお願いいたします。（個人会員は代理出席不可）
- * 当日は直接、会場へお越しください。参加申込後の無断欠席はご遠慮願います。

個人情報の取扱いについて

1. 個人情報は、当事業に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催する各事業のサービス提供やご案内等のために利用させていただきます。
2. 参加申込により、ご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。
3. 当日は、参加者名簿を配布させていただきます。第三者への譲渡はお控えください。

事務局

（公社）日本包装技術協会 関西支部 多林 tabayashi@jpi.or.jp ・ 吉野
〒550-0014 大阪市西区北堀江1-1-27 イマイビル4階 TEL06-6532-1189

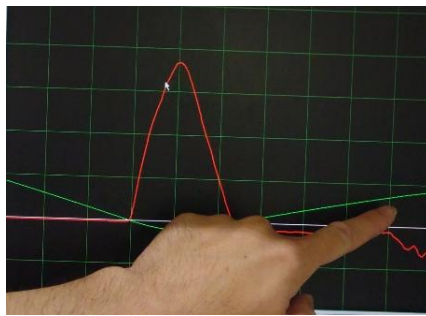
プログラム

	内 容	講 師
9:30 ~11:40 講義	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緩衝材についての基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> * 緩衝材の役割 * 緩衝材の種類と特性 ■ 緩衝設計のための力学の基礎 <ul style="list-style-type: none"> * 速度 * 加速度 * 運動の法則 ■ 緩衝理論 ~緩衝設計とは~ <ul style="list-style-type: none"> * 緩衝係数 * 製品の易損性 	(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター製品信頼性研究部 生活科学・輸送包装研究室長 津田 和城氏
12:30 ~16:30 講義 & 演習	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緩衝包装設計の前提条件 <ul style="list-style-type: none"> * 緩衝包装設計の必要性 * 緩衝包装設計のプロセス ■ 応力-歪線図を使った緩衝設計 <ul style="list-style-type: none"> * 緩衝材の能力を出し切る設計 * 突起や同梱物がある場合の設計 ■ 評価試験機の見学と実演 <ul style="list-style-type: none"> * 包装貨物試験で使用する装置 * 動的応力歪線図の取得 * 緩衝設計の演習と落下試験 ■ 設計上の注意点と配慮点 <ul style="list-style-type: none"> * 設計上の配慮 * 発泡プラスチック以外の緩衝材 	セイコーエプソン(株) Pオフィス・ホームソリューションズ事業部 Pオフィス・ホーム企画設計部課長 竹下 三四郎氏 (包装管理士)

〈講義〉



〈緩衝材特性評価〉



〈落下試験・衝撃値測定〉

〈評価試験設備の見学〉

